

# 新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。村民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より村政運営に対しまして、各別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、日本列島全体で猛暑を通り越し、災害級の暑い夏となりました。直近30年の平均気温を2度以上上回り、まさに「酷暑」との表現が相応しい夏となりました。

この夏の酷暑は我々の生活や自然界に大きな影響を与えました。山々では堅果類が大凶作となり、それらをエサとするツキノワグマが、エサを求め人間の生活圏に出没してきました。幸いにも村内では人的被害が発生しませんでした。全国2例目となる緊急銃猟を実施しました。実施事例も乏しく非常に難しい判断ではありましたが、関係機関並びに担当課の適切な連携・判断により行うことができました。

また、自然を相手にする農業では、物価高も重なり、非常に厳しい状況になっております。特に特産であるこんにゃく芋の価格低迷は村全体に影響を与えました。そのような中、村産の野菜・果樹・畜産物などの消費拡大を目的に「昭和村の大地からの贈り物をたくさん食べよう推進条例」を策定しました。毎月29日を「やさい王国昭和村の日」とし、道の駅や役場でこんにゃく製品を配布するなど、こんにゃくの消費拡大に力を入れています。この度、友好交流を結ぶ横浜市の学校給食でもこんにゃくを使っていただける運びとなり、これからも、こんにゃくを中心に「やさい王国昭和村」をPRしていきたいと考えております。

そして、村の今後10年間の方向性を示す「第6次総合計画 SHOWA未来プラン2034」がスタートしました。10年後に目指す姿を「ともにつくろう 輝く昭和村」と掲げ、これまでの施策や方針を継承しつつも、住民の意識とニーズを基本に、さらに発展させていく視点に立ち、住民主体の村政を実現するため、各種施策・事業の推進に取り組んでまいります。

結びに、皆様方の益々のご健勝と、ご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

昭和村長 高橋 幸一郎

昭和の大地から望む谷川